



第23回 改善発表会

“KAIZEN”で
何かが変わる…

日 時
平成17年5月27日(金) 13:00~

会 場
森松株式会社 本社ビル 5F

サークル名	テーマ	発表者
直列六氣筒	Good Rack!	伊藤雅典
ロジスティックス2005	スリーアウトチェンジ	大橋康成
7UP	アニマル西垣 気合だ!	西垣浩司

賞金総額
60,000円!

優勝
30,000円
2位
20,000円
3位
10,000円

目指すのは、業務改善による自分自身の成長です。



成長が見込める、という点において考へると、現状を冷静に見極める事が第一です。私たちの属している塩ビを中心とする産業資材の業界が順調に拡大している業界ではない以上、「同じ売り上げでどれだけ効率よく利益に転換できるか」という「効率」の良さが求められるでしょう。電灯を消して時間何円節約、という意味ではあります。同時に限りある市場を超えて、新たな角度や視点で新たな市場を開拓することつまり既存の取り扱い素材や加工技術とは異なるものの市場を探ることが必要です。もっとも、商品には寿命があるもので、それに運動して同じ商材や加工が売れ続けはしないので、森松においても絶えず、この市場開拓は行われているものだと思います。

売れている「希望格差社会」の本、「パラサイト・シングル」という言葉を生み出した東京学芸大学の山田昌宏教授の講義を本にしました。終身雇用の終焉、パート採用の拡大といった雇用方式の変化に伴い、仕事に就くことにも、結婚することにも、ひいては、現在のゆとり教育制度についても努力の対価としての成功が望みにくくなっている「希望の持てない現代日本社会」を各種データに基づいて語られています。今後そのような社会を実際に生きていく私としては、会社自身をどのように希望の持てる物にしていくかという視点がすぐに思いきりますが、希望の持てる会社の要素として、成⻑業種の会社、または成⻑が見込める業界

他にいろいろあるかと思います。

20代ばかり、50代ばかり等、社員の年齢に偏りが無い働きやすい「雰囲気」

『希望格差社会を読んで』

社長 森 直樹



naoki@morimatsu.net

4日(土)	8日(水)	12日(日)	16日(木)	20日(月)	23日(木)	24日(金)	25日(土)
第一土曜休み	インテリア・ライフスタイル展 東京ビッグサイト(8~10日)	第2土曜休み	誕生日	決算日	18時~	16時~	14時~
大橋 康成さん誕生日	大見 延子さん誕生日	生産会議 18時~	経営会議 7時30分~	営業会議 15時10分~	健康診断 14時~	第4土曜休み	編集会議 18時~



2005年
6月
の予定



パートさん紹介

皆さん、こんにちは。

昨年の12月から特販部でお世話になっている安藤市子です。

家族は、優しく理解ある主人と、22歳になる大事な1人息子の3人です。

趣味はスポーツで、学区のソフトボールチームに入って毎週日曜日に汗を流して頑張ってます。

早いもので、入社して半年が過ぎました。会社にも仕事にも慣れてきました。皆さん親切で個性豊かな方が多いですが、家族的な雰囲気の会社だと感じています。まだまだわからない事ばかりで、御迷惑をおかけしますが、どうぞ宜しくお願ひ致します。



安藤市子 (特販部)

5月で働き始めて1年になりました、日野です。

何を書くか悩んだ末、私の家族を少し紹介したいと思います。

長女5歳は、私のチェックマンです。「キラキラロロ(クロス)した?」「ネックレスした?」「その服かわいいね」などスタイルのようです。特に保育園の行事の時は「かわいい服にしてね」と注文が入ります。

次女3歳は、私のストーカーです。常に隣にいるので、仕事中だけ解放されます。

夫は、典型的なB型人間です。

そして私は、B型がうつりつつあるA型のフツー(?)の主婦です。

みなさん、これからもよろしくお願ひ致します。



日野宏美 (企画営業部)

伊藤雅典 (直列六氣筒)



体力の衰え

先日、ソフトボールの試合にて2年ぶりにキャッチャーをやりました。

キャッチャーは2塁ベースへの送球練習を相手チームに見せることにより、自分の肩の良さをアピールし、2塁への盗塁を牽制する必要があります。そう思い、1回の守備の投球練習の時、ピッチャーの投げた玉を補給し、2塁へ送球をしたところ、ボールがショートバウンドしてしまいました。ちょっとボールの握り方が悪かったかなと思い、2回の守備の時には慎重に投げたつもりが、やはりショートバウンドしてしまいました。あれっ!以前届いていたものが届かない。3回の時はこれではいけないと思い、もつと力を入れ投げたところ力みすぎて暴投。当然限界に近い力で投げればコントロールも定まるわけがありません。

回を重ねるごとに何とかコントロールは定まってきたが、力の入れ具合は以前とは大違います。チームメイトは2塁へボールを投げる度に歓声を挙げていますが、当本人は複雑な思いです。2チームとやりましたが、たまたま相手チームの年齢が高いせいもあってか、盗塁は1つもなく2勝することが出来ました。試合に勝ててうれしい日でしたが、反面考えさせられました。もう若くもないんだから、引退かな?という思いもありますが、自分自身の体力維持のためにも、まだまだ続けて行きたいと思います。

2005年下半期カレンダー

〈7月～12月〉

 印が休日。

July						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
.	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

September						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
.	.	.	.	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10 October						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
.	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

11	November					
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
.	.	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

「サイバー犯罪」

岩間正美(7UP)



- **架空請求詐欺**
 - 利用してもいいのに高額な請求書が送られてくる。これはインターネットだけではなく携帯に電話があつたり、手紙の場合もあります。
 - **ネットオークション詐欺**
 - 高級ブランド物などを売ると偽り、現金を騙し取る。
 - **銀行やプロバイダを装ったフィッシング詐欺**
 - 銀行やプロバイダを装ったメールが届き、再手続きや確認の為と偽り個人情報を入力させる。
 - **インターネットカフェのPCでID、パスワードが盗まれる。**
 - PCにID、パスワードが盗める機器を設置し、個人情報を収集し悪用する。
 - その他にも、インターネット上には不正アクセス、ウイルス等いろいろな危険もありますので、ファイアーウォール、ウイルスソフト等の導入も忘れずに。

ほう・れん・そ、報連相（報告・連絡・相談）を言い出して20年以上経ちます。もうひとつは言葉、「なぜ ナゼ なぜ」があります。なぜ ナゼ なぜを3回以上繰り返し考えれば、物事の本質が見抜く事が出来る、また真実を知るには、なぜ ナゼ なぜを実行しよう!!と始めてからも20年以上経過しました。

大勢のかたには理解してもらい、森松のイメージアップ・社風になり個人の資質をアップする事に貢献しています。会社のレベルアップや信用力を強め、さらには収益力増につながっている。この、普通のこと、当たり前の事がなかなか出来ないで困っている人が居ます。私もどうしたら「なぜ ナゼ なぜ」の考え方を忘れないで仕事で生きるのか、どうゆう指導をしたら良いのか困っています、20年間悩み続けています。

報連相（報告・連絡・相談）の下手な人も同じです。

「情報の共有化」が今後森松の将来を決定します、共有化出来なければ会社は倒産の方に向に進むでしょ、報連相（報告・連絡・相談）が社内に定着したら森松（株）は今後も発展するでしょう。

①正しく伝える、②途中経過もこまめに伝える、③悪い情報ほど早く伝える。
この三つをポイントに、先輩・管理職の人が率先して行いましょう。これが一番のポイントです。

今で言う“認知症”的母（89歳）と一緒に暮らし始めて早6年になります。

最近少し進み始めて過去と現在が混同していますので、朝、昼、晩に顔を合わせるのがとても辛くなりました。でも母は病気なんだからと自分に言い聞かせるんですが、私の心は少しもすつきりしません。だんだん落ち込んてきて何故か涙が出てきます。親孝行しなければ、しなければ……そして頑張つて頑張つてと自分に言い聞かせて、空回りするばかりで、心も身体も落ち込むばかりでした。このままでは“うつ病”になりそうな予感がしましたので、姉や弟に相談して母と一緒に居る日を少なくしてもらうことにしました。このように決心出来たのは“P.H.P.”と言う本の特集で「クヨクヨに、さようなら もう少し気楽な生き方つて？」を読んだからです。そこにはいろんな人の意見がありました。

- 1、肩の力を抜く
- 2、笑えばクヨクヨも飛んでいく
- 3、クヨクヨする自分を受け入れる
- 4、私なら出来る、自分を信じて
- 5、苦余苦余脱出は気分転換する

私は1と5を選択し肩の力を抜いて無理して頑張りすぎないで素直に弱音を吐き、相談してみました。母との距離を少し置くことで気分転換をして又、介護をしていきたいです。

年に数回、森松産業の要工場全員にて食事会を開催しています。通常業務の内容をはじめ、色々な話題で盛り上がる食事会です。

先日は、通常のコースだと物足りないという社員及びパート（丸々しています）さんの意見を尊重し、「バイキング」コースへ行く事となり、料金も低額でお得でした。

食事を通して色々な会話をすることで、コミュニケーションも取れ、楽しい時間を過ごしている感じがします。

バイキング料理を職場内に想定しますと、味付けも様々で好みの物から好みでない物があるようになります。感じ方やとらえ方一つで評価が決まる。どうせなら美味しい物をたくさん食べたいですね。仕事も同じで効率のよい作業を目指し取り組んで行くには、より多くの意見を取り入れ出来る事から手掛け作業効率へと結びつけて行きたいと思います。つまり、職場内は職場内からの意見を聞く場を提供（食事会）し話題も豊富という事から良い事・悪い事を改めて認識し良い味付けをし、提供できるように努力していくます。

ちなみにお勧めはショッピングセンター内もいいですが（格安）ホテル内のバイキングですね。次回は、「デザートバイキングなんていですね。※何個食べられるかが楽しみです。ちなみに「サンマルク」のコースのパン食べ放題では21個でした。よもぎパンがGoodです。

森信之



『もう少し気楽な生き方って?』

森
ちか



『バイキング』

西垣浩司（7UP）

